

校長室だより 2021 年度7月号



Be creative !

It's only a bad day, not a bad life.

-1 年生GFS I の授業を振り返る-

5月28日(金)1年生GFS I の授業でお話をさせていただく機会を頂戴いたしました。この授業では、最後に生徒たちがその講義の感想を書いて終了するのですが、私は1年生の生徒に次の課題を与えました。

「君にとって、大事な言葉・励まされる言葉・印象に残っている言葉や文はありますか。エピソードと合わせて300字の文章にまとめ、紹介してください。」—生徒の皆さんは大変真面目にこの課題に取り組んでくれました。また、その言葉やエピソードのいずれもが彼らが誠実にこの15年の人生を歩んできたこと・多くの人に支えられて生きてきたことを教えてくれるものでした。紹介します。(標題の言葉もそのひとつです)



#### 先生からの言葉

★「悔しい時は前を向け」—初めての空手の全国大会、延長戦まで戦ったその接戦の中で負けるという体験をした。負けた時、悔しくて下を向いた。泣きそうだった。そんな時、空手の先生が僕にくれた言葉です。「泣いて悔しがることは成長につながる。だけど、下は向くな。下を向いたら心は弱くなるし、しんどくなる。前を向け。」この言葉を忘れず、心に刻んで、これからの高校生活や未来につなげ、成長をしていきたい。

★「諦めんなよ！諦めんなよ！どうしてそこでやめるんだ！そこで！もう少し頑張ってみろよ！ダメダメダメ！諦めたら。周りのことを考えよ。応援してくれている人たちのことを思ってみろって！」—中学校の時、初心者で水泳部に入部し、練習についていけず、私がきぼっていた時に顧問の先生が私にかけてくれた言葉です。この言葉で、私の考え方は180度変わりました。最初からあきらめずに何事にも全力で取り組むこと、自分の気持ちだけではなく、周りのことも含めて考えるなど、ポジティブにとらえることができるようになりました。そのおかげで私の人生は前よりも何億倍も楽しくなりました。

生徒の皆さんが挙げた言葉の中で、最も多かったのが「先生」からの言葉です。担任であったり、部活の顧問であったり、クラブチームの監督であったり、その立場は色々ですが、この「先生」からの言葉が多かったことを私はとてもうれしく思うと同時に、身が引き締まりました。言葉は人を勇気づけるとともに、傷つける力も持ちます。思春期の子どもたちに大きな影響力を与える存在となる人間が教師であるということにしっかりとした自覚を私たちは持たねばなりません。生徒の皆さんは、言葉とともに、その時の先生の顔も気持ちも真正面から受け止めてきたのでしょうか。私にも、この時の空手の先生、水泳部の顧問の先生の顔・声を感じられます。

#### 大好きなアニメから

★僕の顔をお食べ(『それ行け！アンパンマン』)—「自分が傷つくことなしに正義はありえない」作者のやなせたかしさんの考えに感銘した。自分も人のために何かができる人になりたい。

★もう何も見えないのか、お前には！失ったものばかり数えるな！無いものは無い！お前にまだ残っているもの

はなんじゃ！（『ONE PIECE』）—ルフィーが「たった一人の兄」と思って慕ってきたエースを失う。ルフィーに向けられた攻撃から彼をかばい、エースが命を落としたことを知ったルフィーは、暴れ、叫び、泣く。そのルフィーにジンベエがこの言葉を言い放った。「お前にまだ残っているものはなんじゃ！」

「漫画ばかり読んで！」・・・でも、私たち大人も子どものときは、時に大人になってからでも、この漫画・アニメから多くのことを学んできました。「お前にまだ残っているものはなんじゃ！」—「仲間が、仲間がいるよ！」ルフィーは気がつきます。



### 偉人から

- ★「前後を切断せよ、みだりに過去に執着するなかれ。いたずらに将来に望を属するなかれ。渾身の力をこめて現在に働け」—文豪 夏目漱石 イギリス留学中の言葉
- ★「あなたのまわりにいまだ残されているすべての美しいことを考え、楽しい気持ちでいましょう」  
—アンネ・フランク 『アンネの日記』の著者 ナチスによるユダヤ人迫害の犠牲となり、1945年3月ごろ強制収容所にて亡くなりました。

### 家族から

- ★「人生、生きてりゃなるようになる。」—自分が進路や将来の設計についていろいろと悩んでいた時期に、父が僕にかけてくれた言葉です。「いやあ、まあ、人生生きていりゃなるようになるからさ」そのちょっとした一言に、当時いろいろと張りつめていた自分は多少なりとも救われました。

### 友達から

- ★「人の夢を笑うんじゃねえよ！人の夢ってのは検索すればわかるような、そんな単純なものじゃないんだよ！」—友達の夢に自分は浅はかにも「どうせ叶わないんだろ」「そんなに頑張ったって無理だよ。」と高をくくっていた。その時の友達の言葉だ。今思えば、なんて愚かなことを考えていたんだろう。人の夢を笑うのではなく、応援できる人になりたい—僕がこの時にこの言葉とともに学んだこと。

紙面が尽きようとしています。生徒の皆さんが挙げた言葉を列挙します。

「★苦しい時こそ、本当の自分がわかる ★最大のライバルは自分自身 ★孤独に慣れろ！一人は悪いことじゃない ★あの道を選んだら正解、あの道を選んだら不正解、そんなんちゃう。自分が信じた道を選んで突き進んでいく。そうしたら希望の虹はかかる。未来は開けるんや。」

見えてきたのは、自問自答し、もがき、悩み、それでも前に進もうとする皆さんの姿でした。皆さんの提示してくれた言葉は、その皆さんの姿を雄弁に語り、私に伝えてくれました。この課題に真摯に取り組んでくれた1年生の皆さんに、改めてお礼の気持ちを伝えます。そして、同じ時代に生きる人間として YELL を送ります。

最後にもう一つだけ紹介します。

- ★「さ、ひっくり返そう」時に大胆に、マイナスをプラスに、ネガティブをポジティブに！

今月の言葉 「知の巨人」と言われた立花隆さんもアニメから人生を学んだ。  
『ゲゲゲの鬼太郎』が毎回『今回もまた、苦戦の連続だったな』というセリフで終わる」ということに触れて人生というのは、結局、苦戦の連続なんです。僕も振り返ると本当に苦戦の連続だと思っています。でも苦戦を切り抜けていく内的エネルギーを持続させることが大事なんです。

—立花 隆